

寅さん歩 その 15

江戸・東京(23 区)の百名山-13

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成 28 年 9 月 22 日放映終了) 4 年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイディアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区 44.6m の箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い 23 区順に紹介します。今回は五番目に多い北区の 6 山です。数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

[北区]

77. 舟山

西ヶ原 2 丁目 滝野川公園一帯

最寄駅 東京メトロ南北線 西ヶ原駅

本郷通りに面した「滝野川公園」の脇を通過したことはありますが、奥まで入るのは初めて。この辺りは古代人が好んで住んだそうで縄文・弥生・古墳時代の古代遺跡の宝庫とのこと。奥まで進むと崖になっていて下は京浜東北線 上中里駅。公園に隣接した印刷局滝野川工場や消防署・警察署辺りは江戸時代、鷹狩りの御殿があり、「御殿山」

とも言われました。林羅山はその殿舎を「舟山茶亭」と呼んだそう。写真下左は公園入口、右は公園裏です。



78. 飛鳥山

王子1丁目1-1 飛鳥山公園

最寄駅 都電荒川線 飛鳥山駅/京浜東北線 王子駅

今回は「滝野川公園」裏に下りて、線路脇から「飛鳥山」に抜ける「飛鳥の小径」を歩きました。紫陽花ロードとのこと。写真下左の階段を上ると、飛鳥山山頂の売店脇です。東京に向かう東北新幹線の写真が撮れました。



「飛鳥山」の正面上り口は本郷通りに面した側で、王子駅前からは斜面を上る「あすかパークレール」で、数分で山頂に到着（無料）、愛称は「アスカルゴ」（飛鳥とかたつむりの形なので）です。



下は都電が走る本郷通り、前は京浜東北線、宇都宮線、新幹線、そしてアスカルゴが上る、交通好きには絶好の撮影ポイントですが、なかなか全部同時には撮れません。



「飛鳥山」は享保5年（1720年）8代将軍吉宗が桜の苗木を植樹（2年間で1270本）、江戸庶民の桜の名所としました。



写真左は吉宗を称え、王子権現の住職が元文2年（1737年）に建てた「飛鳥山碑」ですが、文体が難しく、格調が高く、当時から読むのが難解な碑として有名です。

公園の南側に日本の近代経済社会の基礎を築いた実業家「渋沢栄一」が晩年の約30年間に過ごした自邸跡があります。
寅さん歩 その8-1 東京発祥之地めぐり-産業・商業編 1-2を参照ください。

79. 地主山

王子1丁目1-1 飛鳥山公園内の北部 展望台跡
最寄駅 都電荒川線 飛鳥山駅/京浜東北線 王子駅

「地主山」は昭和45年（1970年）公園北部に回転展望台（愛称

飛鳥山タワー) があった所とのことですが、平成 5 年(1993 年)に解体され、今はありません。公園北部と言うと本郷通り側で、区役所に確認すると、「アスカルゴ」の終点近くとのこと。近くには「飛鳥山の山頂表示」がありました。「標高 25.4 m」と読めます。桜の木はかなり古木が多い気がしました。



寅さん歩 その5
東京の桜 2013 を参照ください。

80. 亀山

王子本町 2 丁目 名主の滝公園裏手一帯
最寄駅 都電荒川線/京浜東北線 王子駅

江戸末期の名主 畑野孫八が 4 つの滝を巡る公園を整備し、行楽地としてにぎわったそうです。その一部を無料開放したのが、「名主の滝公園」です。



公園脇から台地へ上る、急で曲がりくねった「三平坂」を上ると公園裏手に出ます。写真下の三平坂の左手の森が公園です。



⇒
左に曲がり
さらに上へ
続く三平坂



81. 十条富士

中十条2丁目14 富士神社
最寄駅 京浜東北線 東十条駅

ここの富士の「富」は「冨」でウ冠でなくフ冠です。写真下左は上り口、右は山頂です。古墳と推定された塚に造られ、天保11年(1840年)頃から富士塚として利用されたと推定されます。鳥居や頂上の石祠は明治14年(1881年)造立とのこと。



写真下は下山の道、下りると「富士山世界文化遺産登録」
を祝う看板が残っていました

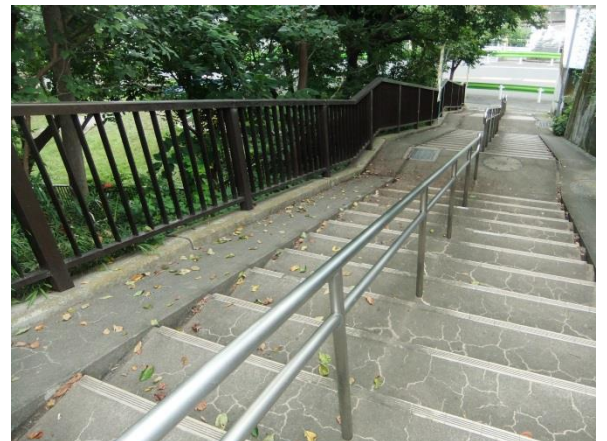
寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-4 及びその 11
江戸・東京の祭-27（江戸らしい祭-11）を参照ください。



82. 八幡山

中十条 4 丁目 15 八幡山児童公園裏手一帯
最寄駅 京浜東北線 東十条駅

スタートの「舟山」から日光御成街道沿いの高台（山並み）
は「十条台」のはずれ迄、来ていました。環七通りを越し
た、八幡山児童公園の裏一帯(写真下左)が「八幡山」との
こと。八幡山児童公園の脇の坂(写真上右)を上りました。



若宮八幡神社祠（写真右）がありました。場所は写真上左の森の中にあたり、山頂と思われます。
幟を見ると「八幡山の会」と記載。ちょうど秋の例祭の日でお供えの準備の最中でしたが、手を休めていただき撮影しました。



〔こぼれ話〕 西ヶ原一里塚

西ヶ原2丁目 最寄駅 東京メトロ南北線 西ヶ原駅



説明板には「慶長9年（1604年）2月、江戸幕府は日本橋を起点として全国の主要街道に一里塚を築き、街道の道程を示す目安にすることを命じました。西ヶ原一里塚は本郷追分の次の一里塚で日本橋から数えると日光御

成街道の二番目の一里塚にあたります。

都内の日光御成街道は現在の本郷通りが主要なルートに当たりますが、岩淵宿から船で川口宿に渡ると鳩ヶ谷・大門・岩淵の各宿場を北上、幸手宿で日光街道に合流しました。将軍が日光東照宮に社参する際の専用街道として使用されたので、この名称が定着しましたが、岩槻藩主の参勤交代や藩の公用通行路に使われたので、**岩槻街道**とも称されました。一里塚は東京市電の軌道延長路線上に位置し、撤去されそうになりましたが、渋谷栄一や東京市長・滝野川町長をはじめ地元住民の運動で保存に成功した都内に現存する貴重な一里塚です」と記載。

次回は江戸・東京（23区）の百名山-14です。

平野 寅次郎 拝